

## コスト試算の難しさから一度は諦めた外部保管サービス Wasabi採用でついに市場投入が実現 医療機関をランサムウェア攻撃から守る砦に

“『INFINITT Smart Archive』というデータ保管サービスは、構想としては早くから完成していたものの、当初はパブリッククラウドを前提としており、その当時サービスを提供していたベンダーでは災害発生時のコスト予測を含む提供価格のシミュレーションが難しく実現に至っていませんでした。それが、S3互換で転送料不要のWasabiが出現したおかげでようやく市場に投入することができました。これが最も大きな導入効果です。また、Wasabiはグローバルでビジネスを展開して実績も十分あり、日本の各種ガイドラインに沿った形でサービスを提供しているため、安心してデータ保管を任せることができました”

株式会社インフィニットジャパン  
ソリューション事業部/マーケティングチーム 部長 李 相助 氏

### 概要

インフィニットジャパンは、医療機関向けにITソリューションを提供する韓国INFINITT Healthcareの日本法人です。INFINITT Healthcareは2002年に誕生、PACS（Picture Archiving and Communication System、医用画像管理システム）に強く、韓国のみならず、日本、アメリカ、中国、ヨーロッパなど世界55カ国6,300以上の医療機関が同社の製品/サービスを導入しています。

日本において、インフィニットジャパンは世界で培った良質のソリューションをわが国ならではのニーズに合わせて提供。常にユーザーの視点に立つ姿勢、また良質でリーズナブルな価格での製品/サービス提供が高い評価を得ています。

### 課題

日本の医療機関は、この20年で二度も組織を揺るがす大きな課題に直面しています。1つめは、2011年に発生した東日本大震災です。地震や津波によって医療ITシステムが利用できなくなり、長く通常診療に戻れませんでした。この痛手を教訓として機運が高まったのが医療ITシステムのBCP対策で、インフィニットジャパンは得意のPACSに関して、データ保管サービスを企画しました。院内ストレージに保管している画像データを、パブリッククラウドでバックアップするというものです。このとき考えていたのがAWSやAzureといったパブリッククラウドでした。

「提供価格を考えて、ストレージはコールドストレージを採用するつもりでした。それでも課題はありました。一般的なパブリッククラウドはデータ転送料がかかるため、いざ大災害が起きて画像を手元にダウンロードするとなると大きなコストがかかります。それがいくらぐらいになるかというシミュレーションを行うのも非常に困難でした」

そのため、サービスとしてはほぼ完成した状態にありながら、最終的に市場投入できませんでした。しかし、状況を一変させる事態が起きます。それがランサムウェア攻撃でした。特に2021年10月、徳島の公立病院を襲った事件は、日本全国の医療機関を震撼させました。また、同様の事件はその後も続きました。これにより、ランサムウェア攻撃対策としてのデータバックアップが真剣に検討されるようになり、インフィニットジャパンにも「データを安全に保管できるサービスはないか」という声が数多く寄せられるようになりました。

また一般的に医療施設では、過去データは削除せず、すべての画像データをオンプレミス環境にて異なる物理ストレージにメインとバックアップ、それぞれを保管しています。そのため、時間とともにストレージ増設に係る負担は大きくなってしまいますが、過去データの一部をクラウド上に保管すると、オンプレミス環境のストレージサイズを減らすことができます。しかし、これを実現するには、クラウドストレージが、常にアクセスが可能なホットストレージである必要がありました。

### ソリューション

インフィニットジャパンには、すでにほぼ完成しているデータ保管サービスがあります。しかし、最終的なクラウドストレージサービスベンダーの選定で悩んでいたところ、INFINITTグループの海外法人が他のサービスで採用した実績のあるWasabiの存在を知らせてくれました。調査を進めていくと、Wasabi Hot Cloud StorageはS3互換であるため、構想上ストレージだけを入れ替えればよく、大きな追加開発は不要であることがわかりました。

### お客様



### 業界

情報通信

### ユースケース

データ保管サービス

### 課題

- 一般的なパブリッククラウドを前提としたデータ保管サービスでは難しかった市場投入データ消失リスクに大きな不安
- ランサムウェア対策で医療機関がデータ保管サービスを強く要望

### ソリューション

Wasabi Hot Cloud Storage

### 導入結果

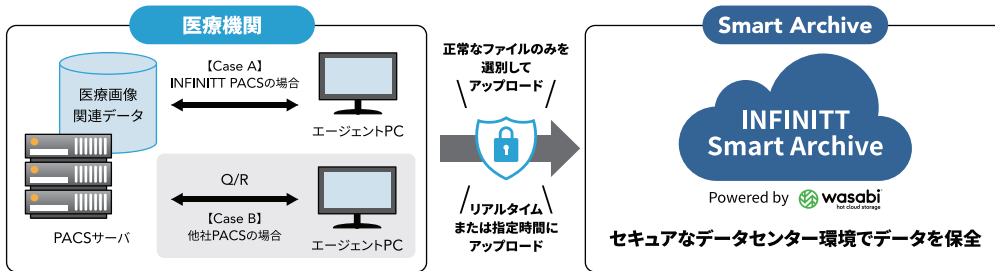
- Wasabi採用でサービスが現実味を帯びて市場投入が実現
- 大がかりな追加開発を必要とせず、第1号ユーザーへも短期導入
- 今後は保管データの対象拡大やグローバルサービスへの発展を検討

李氏は語ります。「しかも、ホットストレージなのに利用料が安価で、データ転送料もかかりません。Wasabiを採用することで、ようやく構想していたサービスが世に出せるものになると考えました。さらに、このクラウドストレージは、データを意図的な削除や上書きから保護するオブジェクトロック機能を搭載していました。ランサムウェア攻撃からデータを守るために、これは必ず使いたい機能だと考えました」

李氏はただちに無償トライアルで性能を検証します。確認したかったのはデータ転送速度でした。PACSの画像データは容量が大きいからです。しかし、これが想像以上に高速で、胸をなでおろした李氏は、Wasabiをデータ保管サービスの主要パーツとすることを決断。本番リリースに向けた最終調整では、韓国本社のエンジニアとWasabiエンジニアが韓国語も交えてやりとりし、プロジェクトをスムーズに前に進めるといふ場面もありました。

## 結果

こうして完成したクラウド型医用画像外部保存サービス「INFINITT Smart Archive」の概要は図のとおりです。



医用画像はまず、PACSに接続された院内ストレージに保存される。この様子をエージェントPCがモニタリングしており、画像の追加を検知すると、Wasabi Hot Cloud Storage上のサービス導入医療機関専用バケットへ、データが自動的にコピーされる。

オブジェクトロック機能は、ガバナンスモードで運用されており、権限を持つユーザー以外誰もファイルに触れられない運用が行われています。データを戻す際も、PACSさえ新たにセットアップできれば、直接そこへすぐに取り込むことができ、Wasabiがホットストレージであることから画像データをローカル環境にダウンロードせずとも、PACSから直接画像データを参照することもできます。またWasabiで安全にデータが保管されるため、院内ストレージは直近データの保管に限ってストレージのサイズ縮小を図ることも可能です。

東京都千代田区のA病院は、早くからランサムウェア対策に乗り出した医療機関の一つで、「INFINITT Smart Archive」ユーザー第1号として2023年11月にサービス利用を開始しました。導入期間は実質2カ月ほどであったといいます。また東京都立川市のB病院では、ハードウェア更新のタイミングでサービスを導入できたため、ストレージがサイズダウンでき、オンプレミスとクラウドを組み合わせたハイブリッド・ストレージ運用を実現しました。

李氏は、導入効果について次のように語ります。

「サービスの構想は早くから完成していたものの、当初はAWSやAzureを前提としていたため、災害時のコスト予測を含む提供価格のシミュレーションが難しく実現に至っていませんでした。それが、S3互換で転送料不要のWasabiが出現したおかげでようやく市場に投入することができました。これが最も大きな導入効果です。また、Wasabiはグローバルでビジネスを展開して実績も十分あり、日本の各種ガイドラインに沿った形でサービスを提供していたため、安心してデータ保管を任せることができました」

今後、同社は「INFINITT Smart Archive」での保管データの対象を、電子カルテシステムや、ベテラン医師が遠隔から放射線画像読影ナレッジを提供する同社遠隔読影ソリューションなどでも広げていきたいと考えています。また、このサービスをグローバル展開したいとも構想しており、現在、INFINITT HealthcareとWasabi米国本社の間で詰めの検討が行われています。凶悪なランサムウェア攻撃から医療機関を守るデータ保管サービスは、Wasabiを採用することで実現し、まさに求められる役割を果たしています。



株式会社インフィニットジャパン  
代表取締役社長  
趙 顯真 氏



株式会社インフィニットジャパン  
ソリューション事業部/マーケティングチーム 部長  
李 相助 氏



株式会社インフィニットジャパン  
ソリューション事業部/マーケティングチーム 主任  
能口 翔平 氏

## Wasabiについて

Wasabiは米国ボストンを拠点としており、データストレージを低価格、予測可能かつセキュアに提供することで、世界中のデータを保存することを使命としています。先見性のある企業は予測不能な料金やベンダーロックインに悩まされることなく、いつでも自由に自社のデータを利用し、業界で急成長を続けている独立系クラウドアプリケーションパートナーであるWasabiのエコシステムを活用して最高のソリューションを自由に構築できます。世界中のお客様とパートナーが、自社のデータを活用することで、潜在的な力を最大限に発揮しています。日本では東京と大阪でデータセンターを運用しています。詳細については、<https://wasabi.com/ja/> をご覧ください。

## Email

[japansales@wasabi.com](mailto:japansales@wasabi.com)

